

学ハロ大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
http://osaka-young-site.mhlw.go.jp

第24号

2015年10月16日

 大阪新卒応援ハローワーク



2 情熱と素直さで
大手地銀に内定
3 地或医療に貢献
北野病院事務職に

仕事と子育て、両立支援待ったなし

子育てをしながら仕事を続ける人を支援する両立支援制度について理解を深めるセミナーと、くるみん認定企業などが参加した拡大版のRMB(レギュラーマッチングブース)説明会が9月25日、大阪新卒応援ハローワークなどで開かれた。セミナーでは育児・介護休業法の解説や、くるみん認定企業である関西アーバン銀行の人事担当者が社内での取り組みについて事例報告した。参加した就活生はメモを取るなど熱心に聞き入っていた。

大阪労働局、両立支援制度セミナー



「両立支援制度セミナー」は子育てと仕事

事を両立させる上で知っておきたい国の法整備と、企業のための具体的な支援施策に理解を深めてもらう目的で大阪労働局雇用均等室が主催した。この

日は現役の大學生や既卒の就活生らが参加した。

セミナーでは、同局雇用均等室の加藤由希子厚生労働事務官Ⅱ写真下Ⅱがミニ法律講座として男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の概要や中身について解説した。

加藤事務官は「就活ではどんな基準で企業を選んでいる

のだろうか。一日24時間のうち16時間は働くことに費やして



ており、仕事選びは人生設計をイメージするのが不可欠」と強調。第一子の出産が平均30・3歳、第二子が32歳というデータを踏まえ「20歳代前半に就職してから出産、育児まで期間はわずか8年だ。皆さんはそう遠くない時期に育児に関わることになる。今のうちから家庭と仕事の両立をどう図るかを考えて欲しい」と提起し「法律に理解を深め、将来、育児休暇などを取得する時に役立て欲しい」と話した。(記事、4面に続く)

関西アーバン銀行人事部の山中美果人事・企画グループダイバーシティ推進チーム主任=写真=が、同行が取り組む働きやすい職場環境づくりの具体事例を発表した。

関西アーバン銀 事例報告

同行は専門スキルの向上と人材の強化に向け、ダイバーシティを推進している。今年9月には均等・両立推進企業表彰の均等推進企業部門とファミリーフレンドリー企業部門でそれぞれ大阪労働局長優良賞を受賞している。



山中主任は育児休暇などの両立支援

制度の浸透を図ることが大切だとした上で、「産前産後休暇を取得予定の職員を対象に、育児復帰者の体験談、妊娠中の健康管理、待機児童問題を受けた「保活」の重要性などについて講義する「プレママセミナー」を実施しているほか、両立支援ガイドブックの配布や管理職を対象にしたセミナーなどを通じて、周囲の理解促進と意識向上に努めている」と強調した。また、店舗ごとの退社目標時間の設定や、NO残業デーの実施など多様な労働条件の整備が「仕事にメリハリを付け、効率化に結びついているようだ」と分析した。

育児参画については、育児休暇は1歳6月未満とし特別な場合は2歳まで取得できるほか、短時間勤務制度は子が小学校入学まで。看護休暇も子が一人で年5日間、2人以上なら年10日間、取得できる制度を紹介した。

一方、ポジティブアクションの取り組みについて、女性総合職の積極採用についても言及した。平成23年度は5人(12.2%)の採用だったのに対し27年度は29人、31.2%に増えた。グループ長以上の女性登用率も25年度が103人(13.4%)だったのに対し27年度は117人(15.2%)に伸びた。それを踏まえ山中主任は「2017年度には登用率を20%にする数値目標を設定している。女性の力を最大限発揮できるように今後とも積極的な施策に取り組みたい」と話した。

「保活」や先輩ママの話、セミナーで

熱意と素直さで大手地銀に

第一志望だった地方銀行のセミナーには何度も足を運んだ。行員の言葉や表情はしっかりメモし、志望動機は自分が感じたことだけを綴った。書いては直されたES、企業への思いを書きなぐった就活ノート…。書くことで自分を深め、「ここに入りたい」という情熱で掴んだ銀行員への道だった。

近畿大学経営学部4回生・女性

◆今年就活のスケジュールが変更された。何か影響はあったか。

特に感じなかった。私は昨年10月、学外の講座に参加し、本格的に就活を始めた。一日限りのインターンシップにも参加した。中には今年5月に内定を取り、就活を終えた人もいたが、周りの動きは特に意識しなかった。

◆当初から金融志望だったのか。

いや、絞り込むまでに時間がかかった。商社や物流、ウェディングまで幅



た。3回目は本社で人事と。「総合職は甘くないよ」「しんどいこともあるけど、どう乗り越えるか、考えていますか」との質問も。特に「メガを併願しているか」はよく聞かれたから「御行が第一志望です。メガは受けていません」ときっぱり、熱意を込めて伝えた。最終面接は15分ほど。意思確認のようで、その場で内定が告げられる。8月4日からわずか10日で決まった。

◆大阪新卒応援HWIはどのように知ったのか。また役に立ったことは何か。

相談できるところを、と自分で探し見つけた。JS（ジョブサポーター）にはESを何度も見てもらい添削を受けた＝写真下は赤字の直しが入ったESの草稿。なぜこの銀行か、会社説明会での話や自分がその時、感じたことだけを書いた。会社概要の引用は一切なし。すべて自分の言葉だ。就活ノ

**セミナーの話はノートにしっかりメモ。これがESのネタになる
ESには、セミナーで聞いたことや自分の感じたことだけを書いた
同じ銀行のセミナーには何度も。それが志望の熱意として伝わった**

広く会社説明会には足を運んだ。3月の合同説明会でたまたま損害保険会社の方に声をかけられて。そこで損保や銀行の話聞き「おおっ、いいな」と。銀行は女性が多く活躍している。行員の方からは「金融は目に見える商品ではないから、人が勝負となる」と教えられた。それを聞き、私も海外でのボランティア活動やアルバイトの経験を生かし、目の前のお客様を笑顔にできるのではないかと気付いた。

◆本命の地銀とはどう出会ったのか。

セミナーだ。人事担当者や行員との座談会有り、計2回参加した。予約を取るが大変で…。ラッキーだった。こちらが質問し、行員が答えるパターン。入行2-3年目の方と話した。

◆どんな雰囲気だったか。

新入社員の仕事の流れや職場の雰囲気が分かった。育児休業後に職場復帰された方の話もあり、女性の活躍にも関心が高まった。みなさん良い人ばかりで、こちらの話や質問を一つ一つ丁寧に聞いてくれる。その姿勢に惹かれた。普段からお客様にこんな接客を心掛けているのだろうと、その姿が伝わっ

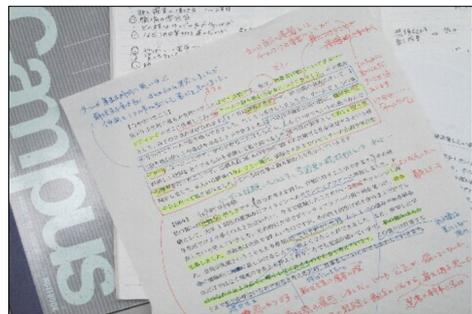
てきた。話しぶりもソフトで高圧的な方もいなかった。若手が活躍できる環境のようだ。セミナーでは、他の学生からほとんど質問がなくて。だから私は「ここだ」と思って積極的に手を上げた。行員の答えを聞くと「会社の考えは私が普段、思っていることに近いぞ。あっ、ここは同じだ」。聞けば聞くほど感じるようになった。

◆具体的にいうと。

「メガバンクは決められたことをするイメージだが、ウチは違うよ。若いうちからどんどん経験させる社風だよ」という。私も若いうちから経験を積み活躍できればと考えていた。行員にはメガバンクを辞退して入行した方もいる。メガという名前でなく働き方を重視する点は、私の考えとピッタリ。ここなら、結婚や出産後も長く働けると実感した。以来、金融に絞ってからは同じ銀行のセミナーに何度も足を運んだ。「あの子、また来ている」と思われるぐらいに。

◆実際の面接はどうだったか。

計4回、全て1対1だった。40分から1時間ほど私が質問する形式もあつ



トは3冊に及んだ。自己PRはスーパーのレジ係の経験を書いた。接客は自分は良かれと思っていてもお客様によってはクレームに繋がることもある。「これがいい」と自分勝手に決めつけてはダメだと痛感した。入行後もこの経験を生かし、お客様の立場に立った接客を心掛けたいという内容だ。

◆就活を振り返って感じることは。

いろんな方と出会えてむしろ楽しかった。私は何かすごい経験をしているわけでもない。だから面接での質問には自分らしく素直に答えた。そして「御行が第一志望、ぜひ入りたいです」との熱い思いだけはしっかりと伝えられたと思う。金融はセミナーが多いが、ぜひ参加して欲しい。そこで出会った人たちの言葉が、私には貴重だった。

「事務の仕事で地域医療に貢献したい」

博士課程に再度、挑むか、就職するか。葛藤の末に選んだ道は院卒・無職の厳しい就活だった。不採用が続く現実に押しつぶされそうな日々…。そんな時、大阪新卒応援HWで出会ったのが北野病院の事務職だった。「地域医療の中核として市民を支える姿に、ここだ、と感じた。多くの経験を積み病院事務のスペシャリストを目指したい」。仕事にかけるその思いを聞いた。

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 地域医療サービスセンター事務職・26歳男性

「地域の基幹病院として医療に貢献できる。これが仕事の魅力だ。超高齢化社会に向け地域連携はますます大切になる。事務職として患者様を支えたい」。

大阪市北区の北野病院。地域医療サービスセンター事務職の男性＝写真＝は笑顔で仕事への思いを語った。同院は、医学研究所を持つ総合病院で1928年に設立された。京都大学医学部と併に地域の中核病院、地域医療支援病院、大阪府がん診療連携拠点病院として高度先進医療を提供す



た英語の文法理論の研究やアルバイトの経験、なぜ北野病院なのかを何度も文章に書いては削り、簡潔にまとめた。面接では志望動機で話した「貢献」の定義について質問がきた。

「事務職は直接、患者様に手当てを施すことはない。君のいう『貢献』とは具体的に何なのか、と。私は、もし病院がなくなれば地域に多大な影響を与えるし、その存在と責任は重く大きいと思う。医師や看護師など多様な医療従事者と共に責任を持って病院運営に当たる事務職も、やはり『貢献』していると言ってもいいのではないかと。その思いを素直に伝えた」と振り返る。内定先は既に断り、背水の陣で臨んだ面接だった。卒業から1年。採用の連絡に「長かった。ようやくほっとできた」。

「きょうはどんなことが学べるのか。日々、仕事が楽しい」。男性職

急ぎの仕事だからこそ、自分で勝手に判断せず、報告・連絡・相談を

る。

大阪大大学院文学研究科では言語学を専攻。博士課程に進むつもりだったがが上手くいかず一度も就活を経験しないまま昨年3月卒業した。大学の事務職を目指すも何から手を付けていいかわからず「最終選考ははるかに遠く、当たって砕ける。その連続だった」。

今春には就活エージェントの利用を始めたが「英語ができる人はたくさんいる。もはやTOEICのスコアは武器にならないとまで言われ、職務経験ゼロも大きい」と厳しく指摘された。「これが、年齢を重ねた文系・院既卒者の就活の現実か…。事務職



の選考も結果は出ないし。卒業から既に1年。これが辛く悲しかった」。

大阪新卒応援HWは弟の紹介だ。1社内定にこぎ着けたが、迷っていた。目先を変えてみたいとさっそく相談窓口を訪ねる。「最初は悲壮感あふれた場所かと思っていたが、全然違った。雰囲気も明るく居心地もいい。J Sも親切だった。もっと早く来れば、と後悔した」。

北野病院との出会いは窓口での勧奨がきっかけだ。「『あすRMB(レギュラーマッチングブース)の会社説明会があるよ。のぞいてみれば』。病院事務職は思いもよらなかったが、地域と連携し高度な医療を手厚く提供する話がとても新鮮だった。「助け合いの心がいい」。また様々な職務が経験でき、長期的なキャリアが形成できる点も魅力だった。「仕事を頻繁に変えてはスキルは身につかない。ここなら自分を試せるのではないかと」。

応募に当たり自分が取り組んでき

員の言葉が弾む。地域医療サービスセンターでは患者本人や医療機関からの受診予約調整や緊急時の手配、救急患者窓口の対応などを担当。気を付けているのは自分で勝手に判断しない報告・連絡・相談の大切さだ。

「いずれも急ぎの仕事。バタバタする中、上司や先輩が常に気遣ってくれる」。手術や診察で医師が手を離せない場合は看護師や事務方を通じて相談する調整力が求められる職場だ。

素早く対応できる先輩の姿に、いつか自分も、との思いがある。仕事でやるが増える＝できるが増えるんだ、とポジティブに考えている。今後は「医事課や庶務など様々な現場を知り仕事への理解を深めたい」。診療情報管理士など業務で生かせる資格の取得も視野に入れる。

「大阪新卒応援HWに来た翌日にRMBで北野病院と出会え、本当に幸運だった。諦めずにチャレンジしてよかった」。

10月29日 拡大RMB

「へーっ、そうなんや」 企業14社集結

「へーっ、そうなんや」と思わせる特長やアピールポイントがある企業14社が10月29日、大阪新卒応援ハローワークの拡大版レギュラーマッチングブース説明会・面接会に集結する。今回は、紳士スポーツカジュアルウェアの製造・卸売業や、大手グループ企業の保険代理業務、英語の辞書や教科書の出版営業職などそれぞれの分野で強みを持った多彩な企業がそろそろ。ぜひ各ブースをのぞいて欲しい。

拡大版の第7弾で2016

年3月卒業予定の大学・大学院、短期大学、専門学校等の新卒と既卒者(第2新卒)が対象。当日は午後1時から計5回、企業側が事業内容や採用フローなどを説明する。1回45分の完全入れ替え制で途中の入退室はできない。午後1時から始まる第1回目の説明会は、混雑が予想されるため、早めの来所をお勧めする。参加企業は次の通り。クレヨン 婦人服、服飾雑貨の製造・小売▼医療法人徳真会グループ 歯科病院を国内外35カ所▼カーブス(株式会社)が運営 女性だけの30分フィットネスで全国1145店舗を展開▼伊部 紳士スポーツカジュアルウェアの製造、卸売、小売で職場の定着率がよい▼相互印刷 医薬品パッケージ印刷で業界NO.2。一般、営業事務も▼コロワイドMD 甘太郎など2000の飲食店を全国展開▼光星技研 タイ

ヤやゴルフボールなどゴム製品の製造設備、設計製作を行う。ゴルフクラブのアイアンヘッド部分のパフ掛け作業をロボットで自動化▼セイレイ興産株式会社ヤンマー保険事業部 ヤンマーグループの企業や社員が顧客の保険代理店。損保・生保扱う。一般事務職も▼プリセプト 健康補助食品や自然食品の開発販売。青汁やココナッツオイルを生協に納め業績拡大▼大修館出版販売 英語辞書の定番シリーズ英和辞典や検定済教科書副教材の販売促進▼山崎産業 家庭用・業務用の環境美化用品の製造販売。浴室の足ふきマットや私鉄のベンチ、ごみ箱の製造販売▼宮脇鋼管 鋼管の卸・販売・加工サービス。東京スカイツリーに同社製品が使用▼間口 総合物流サービス業で大手スーパーや食品、家電などを顧客に安定している▼丸食フーズ 丸大食品の関連会社で肉・魚類、惣菜などの食材を外食・給食産業に納入。定着率も高い。

両立支援制度セミナー くるみん企業 ぜひチエック

●1面から続く

両立支援制度について加藤事務官は「ウチの会社は規模が小さいから育児休業が取れない、との声を聞くがそれは誤りだ。パートや派遣、契約社員など雇用期間の定めのある労働者でも一定の要件を満たせば育児休業が取得できる。また、3歳未満の子を養育する労働者は、希望すれば1日の所定労働時間を原則6時間とする短時間勤務制度も活用できる」と紹介し、法制度を利用すれば、産後でもゆとりを持ったペースで仕事ができる利点を強調した。その上で「両立支援がどの程度進んでいるか、判断する一つの基準となるのがくるみん認定企業だ。いわば国が子育てサポート企業のお墨付きを与えているといつて良い。ぜひどんな企業があるか、大阪労働局HPの企業リストを

見て欲しい」とし「中には以上に社内制度を充実させている企業もある。具体的な行動計画は外部への公表が義務付けられており、確認もできる。両立支援の中身を企業選びの基準にして欲しい」と呼び掛けた。

■今秋絶対内定へ就活生が面接会 若者応援宣言企業が集う就職フェア2015が10月14日、大阪・梅田のハービースホールで開かれ、就活生が

皆さまこんにちは。季節はどんどん過ぎ早くも10月ですね。就活仲間には、内定式に出た方もいて焦りを感じている方もいるかもしれません。私は内定式に出ていないと思っている方もいるかもしれません。でもよく考えてください。働き始めるのはいつかという来々年4月からです。あと半

入社は4月、焦らずじっくりと

年しかないではなく、あと半年じっくり将来働くところを考えるいい時間があると思ってください。就活仲間は少なくなっても、大阪新卒応援ハローワークのスタッフはいつでもあなたの味方です。どんな些細なことでもサポートさせていただきますので、大阪新卒応援ハローワークへお越しください。皆さまのお越しをお待ちしております。



意中の企業の面接会に臨んだ。製菓業や卸売・小売、医療・福祉、飲食など80社が参加した。苦手な面接をどう克服するかをアドバイスする対策ゼミナーを始め、応募書類の添削や相談コーナーも設けられ、終日にぎわったII写真。